

製品名: RPTOR マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM85967**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:100-1:500
分子量	149kDa

抗原情報

遺伝子名	RPTOR
別名	Regulatory-associated protein of mTOR, Raptor, p150 target of rapamycin (TOR)-scaffold protein, RPTOR, KIAA1303, RAPTOR
遺伝子 ID	57521.0
SwissProt ID	Q8N122
免疫原	この RPTOR 抗体は、組み換えタンパク質で免疫化されたマウスから生成されます。

背景

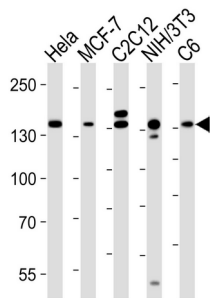
哺乳類ラパマイシン標的タンパク質複合体 1 (mTORC1) の活性制御に関与し、細胞の成長と生存、および栄養素やホルモンのシグ

ナルに応答するオートファジーを制御します。また、mTORC1 基質をリクルートするための足場として機能します。mTORC1 は、成長因子またはアミノ酸に応答して活性化されます。成長因子刺激による mTORC1 活性化には、AKT1 を介した TSC1-TSC2 のリン酸化が関与し、RHEB GTPase が活性化されて mTORC1 のタンパク質キナーゼ活性が強力に活性化されます。mTORC1 へのアミノ酸シグナル伝達には、Ragulator 複合体および Rag GTPase を介したリソソームへの再局在化が必要です。活性化された mTORC1 は、mRNA 翻訳およびリソソーム合成の主要な制御因子をリン酸化することにより、タンパク質合成をアップレギュレーションします。mTORC1 は EIF4EBP1 をリン酸化して、伸長開始因子 4E (eIF4E) 阻害から解放します。mTORC1 は S6K1 の「Thr-389」をリン酸化して活性化し、PDCD4 をリン酸化して分解を促進することでタンパク質合成を促進します。繊毛形成に関与しています。

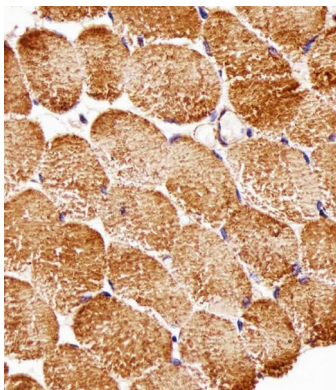
研究分野

PI3K-Akt シグナル伝達経路、mTOR シグナル伝達経路

画像データ



Hela、MCF-7、マウス C2C12、マウス NIH/3T3、ラット C6 細胞株 (左から右へ) のライセートを RPTOR 抗体を用いてウェスタンブロット解析した。RPTOR マウスモノクローナル抗体は各レーンで 1:1000 に希釈した。二次抗体として、ヤギ抗マウス IgG H&L(HRP)抗体を 1:10000 に希釈したものを使用した。ライセートは 1 レーンあたり 20 μ g。



RPTOR 抗体 (カタログ番号 AMM85967) を用いたパラフィン包埋ホジキンリンパ腫骨格筋切片の免疫組織化学染色。AMM85967 は 1:25 に希釈した。二次抗体として、希釈していないビオチン化ヤギ多価抗体を用い、DAB 染色を行った。